

津軽森林管理署の労働災害防止協議会に参加

令和8年8月28日(金)、青森県弘前市相馬の萱范国有林内において津軽森林管理署主催の労働災害防止協議会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。

当日は天候にも恵まれ、弘前労働基準監督署、林業関係団体や津軽署管内の林業事業体、県、市町村担当者など総勢47名が参集しました。

開会式では津軽森林管理署長、弘前労働基準監督署長の挨拶に続き署担当者から現地概要説明があり、説明終了後に現場請負者により伐倒から運材まで一連の作業を実演していただき、実演結果等について参加者間で意見交換する流れで進められました。



開会式の様子



ハーベスタによる伐倒の実演

実演終了後、参加者は伐倒箇所まで移動し伐根の受口・追口やつるの状況を確認。確認結果等について、弘前労働基準監督署から講評をいただきました。

その後、弘前労働基準監督署から林業における労働災害発生状況や、職場における熱中症対策の強化等についての講義をいただきました。また、青森県森林組合連合会から現在の木材需要動向等について情報提供していただき、青森事務所からも木材需給動向、4m採材比率の向上、採材・巻立の注意点等について説明させていただきました。

青森事務所では、今後も各署で開催される各種協議会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



伐倒後の伐根を確認



弘前労働基準監督署による安全指導